P/F 比（レシオ）

$$P = PaO_2$$

$$F = F_IO_2$$

P/F 比（レシオ）

$$PaO_2 \div F_IO_2$$

吸入酸素濃度＝50%

Fraction　：　割合

FIO_2 ＝0.5

例えば・・・

PaO_2 ÷ F_IO_2

100 mmHg

0.2

P/F比 ＝ 500

臨床では

	PaO_2	酸素濃度
昨日	150 mmHg	50 %
本日	120 mmHg	40 %

解答

昨日　150 ÷ 0.5 ＝ 300

本日　120 ÷ 0.4 ＝ 300

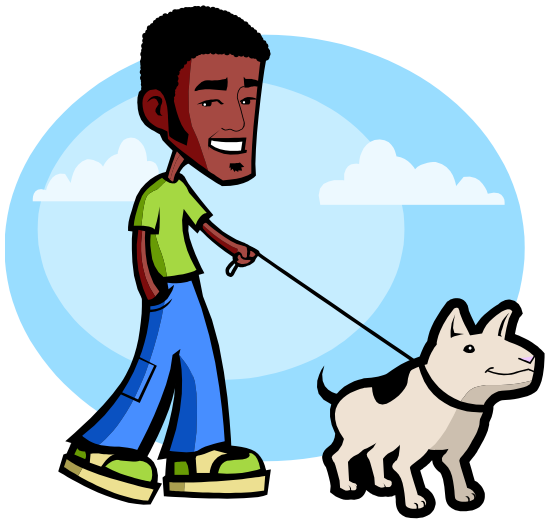
P/F比の臨床判断のコツ

500以上	Very Good !!
500～400	まあ、大丈夫
400～300	ちょっと心配。。
300～200	Dr Call !!
200以下	緊急挿管. NPPV

P/F比の 離床判断 のコツ

500以上	離床OK
500～400	
400～300	注意深く離床
300～200	守りの離床
200以下	治療優先

F_IO_2 の値の見方



0.21

1.0

F_IO_2 の値酸素投与形態による予測値

6L = 0.6

3L = 0.32

酸素投与形態による吸入酸素濃度の目安

	酸素流量（L/分）	吸入酸素濃度（%）	加　湿
鼻カニュラ	1	24	原則不要
	2	28	
	3	32	
	4	36	要加湿
	5	40	
簡易酸素マスク	5～6	40	
	6～7	50	
	7～8	60	
リザーバー付酸素マスク	6	60	
	7	70	
	8	80	
	9	90	
	10	90～	